

令和4年8月2日

地域共同テクノセンターだより NO.62

地域共同テクノセンター

日頃より当センターの活動にご協力頂きましてありがとうございます。地域共同テクノセンターは、研究・産学連携推進部及び地域教育支援部の二部構成で運営しております。それぞれの構成員および所属は以下の通りです。

今後も当センターの活動にご理解と、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

コロナ禍の影響で活動が制限される中ですが、令和3年度の主な活動概要をお知らせ致します。

地域共同テクノセンター組織表

センター長		菅沼 明（副校長：研究・産学）	
研究・産学連携推進部		地域教育支援部	
部長	石川洋平（創造工学科准教授）	部長	原慎真也（創造工学科教授）
部員	清水暁生（創造工学科准教授）	部員	白川知秀（創造工学科助教）
	内田雅也（創造工学科准教授）		小林正幸（創造工学科教授）
	伊野拓一郎（創造工学科講師）		森紳太郎（創造工学科准教授）
	野口卓朗（創造工学科助教）		金田一男（創造工学科教授）
	窪田真樹（創造工学科講師）		酒井 健（一般教育科教授）
	古川一輝（一般教育科助教）		大木泰仁（技術部技術専門職員）
	吉富貴司（技術部技術専門職員）		

◎産学連携コーディネータを配置

令和2年度から産学連携コーディネータ2名を配置しております。令和3年度も共同研究や技術相談などでご活躍いただきました。



太田CD（地域連携担当）

1999年、九州三井アルミニウム工業（株）経営管理部長
2007年より内部監査室長
2016年有明高専産学官連携コーディネータ
2017年、和水町にて地域雇用創造協議会 事業推進員リーダー



佐藤 C D（産学連携担当）

2001 年より佐賀大学にて産学連携に携わり副機構長、産学連携学会九州支部長を歴任。現在、佐賀大学名誉教授。

1. 産学関係

（1）有明広域産業技術振興会 役員会

6 月 4 日（金）14 時 00 分から、有明広域産業技術振興会役員会が開催されました。今年はコロナ禍の影響で総会は書面にて行い、役員会のみオンライン会議での開催となりましたが、令和 3 年度の事業計画書等の議事は滞りなく承認されました。

（2）有明広域産業技術オンラインサロン

コロナ禍の影響で活動が制限される現状を踏まえ、有明広域産業技術振興会と連携し、新しく動画ポータルサイトを構築し、企業経営者等から次世代を担う若者や地域の方々に対するメッセージを動画で配信を行ったり、本校教員による各コースの特色等を紹介や気軽に技術相談等が行うことができる、有明広域産業技術振興会会員限定の「オンラインサロン」開設しています。



有明広域産業技術振興会企業向けのオンラインサロンは毎週水曜 16:00 から

<https://sites.google.com/ga.ariake-nct.ac.jp/ariakedoga/online salon>

(3) 特別講演

例年開催されている特別講演ですが、コロナ禍の影響で今年度もオンラインで開催されました。

- ① 中央大学ビジネススクール客員教授 Q-Leap 株式会社代表取締役副社長 COO 愛場吉子氏に「イングリッシュ・ジャーナルを通した『活きた英語』の学び方」
- ② 飯塚友情ネットワーク顧問 シリコンバレー・ジャパンビジネスコンサルティング CEO マーク加藤氏に「シリコンバレーから見た将来と GenZ」
- ③ infix (インフィックス) ボーカル 大牟田大使 長友 仍世氏に「音楽が教えてくれた夢と地元愛」

本校職員と学生及び企業より、各回 60～70 名の参加がありました。

イングリッシュ・ジャーナル を通した 『活きた英語』の学び方 2021 金 12月17日 16:30 - 18:00	シリコンバレーから見た 将来と Gen Z 2022 土 1月8日 10:00 - 11:30	音楽が教えてくれた 夢と地元愛 2022 金 2月25日 16:30 - 18:00
有明広域産業技術振興会 オンライン講演会 各回 先着100名様まで 事前のお申し込みが 必要です! zoom で開催します 参加費無料 どなたでもお気軽にご参加ください		
ビジネス英語研修の Q-Leap 株式会社  中央大学ビジネススクール客員教授 Q-Leap 株式会社代表取締役副社長 COO 愛場 吉子 / Yoshiko Aiba	マーケティング及び ビジネス・デベロップメントの専門家  飯塚友情ネットワーク顧問 シリコンバレー・ジャパン ビジネスコンサルティング CEO マーク加藤 / Mark Kato	日本のロックバンド infix 2022 年 3 月 21 日 メジャーデビュー 30 周年  大牟田出身 infix (インフィックス) ボーカル 大牟田大使 長友 仍世 / Jousei Nagatomo
有明工業高等専門学校 地域共同テクノセンター TEL: 0944 - 53 - 8627 E-mail: arcc-office@mlariake-nct.ac.jp ※zoomの受講方法につきましてはお申し込み後にメールにてお知らせいたします お申し込みは こちらのQRコード またはメールにてお申し込みください 		

(4) サテライトオフィスミーティング

有明高専サテライトオフィス（まちなかシリコンバレー）にて、サテライトオフィスミーティングが下記日程でオンライン開催されました。関係機関と本校教職員が、近況報告や助成金・補助金情報、産学官連携の取り組みの検討等情報交換を行いました。

【関係機関】大牟田市産業経済部産業振興課、大牟田商工会議所中小企業相談所

大牟田市地域活性化センター、荒尾市建設経済部産業振興課、荒尾商工会議所
荒尾市起業家支援センター

【本校職員】石川准教授、野口助教、古瀬総務企画係長、武田総務企画係主任

(第1回) 1月17日(月) 15時00分～

(第2回) 3月25日(金) 15時00分～

(5) 有明広域産業技術振興会会員企業紹介事業

1月11日(火)、本校の学生に有明広域産業技術振興会会員企業を紹介し、地域の企業の魅力を知ってもらい、興味を深めてもらうことを目的とした、企業紹介事業が開催されました。有明広域産業技術振興会会員企業35社が、本校第一体育館に各ブースを設置し、企業紹介を行いました。コロナ禍の中での開催でしたが、1回あたりの説明人数を制限するなど感染症防止対策の上、開催されました。



江崎校長の挨拶



当日の様子

(6) 第19回おおむた産学官連環交流会

『第19回おおむた産学官連環交流会』がオンデマンド配信にて開催され、本校創造工学科 大河平 紀司 教授がシーズ発表を行いました。

【基調講演】

「SDG s の本質と企業が取り組む意義」

SDG s パートナーズ有限会社 代表取締役CEO 田瀬 和夫 氏

【シーズ発表会】

① 「ファインバブル技術の応用展開に向けた学術的検討」

本校 創造工学科 教授 大河平 紀司 氏

② 「理学療法技術が動物を救う」

～高齢ヤギの歩行獲得への挑戦～

帝京大学 福岡医療技術学部 理学療法学科 講師 壇 順司 氏

③ 「SDG s と産学連携で新たなビジネスチャンス」

～福岡大学の取組事例ほか～

福岡大学 産学官連携センター

産学官連携コーディネーター客員教授 社会連携センターコーディネーター

中川 普巳重 氏



2. 民学関係

(1) 第1回大牟田市・荒尾市教育委員会との連携協力推進会議

6月23日（水）に大牟田市教育委員会、6月24日（木）に荒尾市教育委員会との連携協力推進会議が開催され、前年度の事業報告のほか、今年度の出前授業や小中学校教員向け教育講座等の計画等について審議・決定されました。

(2) 出前授業 三井炭鉱で使用された「電気機関車」モデルに乗って学ぶ

8月1日（日）に大牟田市石炭産業科学館において、炭坑で使用された炭鉱電車モデルに実際に乗車し、炭坑の技術について学ぶ出前授業が開催されました。



(3) 令和3年度 教育支援事業一覧



出前講座 液体窒素で遊んでみよう



出前講座 クリップモーターを作り回転競争をしよう

○小中学校対象

講座名	参加者数	開催期日	担当者	主催等
巨大空気砲を作ろう！	100	10月25日	坂本・篠崎	連携協力推進会議事業 (羽山台小学校)
液体窒素で遊んでみよう	84	10月27日	酒井・鮫島・森田・竹内	連携協力推進会議事業 (天領小学校)
大牟田・荒尾の世界遺産を学ぶ	84	10月29日	篠崎	連携協力推進会議事業 (白光中学校)
巨大空気砲を作ろう	148	11月22日	伊野・篠崎	連携協力推進会議事業 (大牟田中央小学校)
クリップモーターを作り回転競争をしよう	36	11月26日	池之上・泉・白川	連携協力推進会議事業 (倉永小学校)
クリップモーターを作り回転競争をしよう	85	12月1日	南部・河野・石丸・尋木	連携協力推進会議事業 (天領小学校)
身近な液体を『温めて！振って振って！！』地球温暖化を考えよう	40	12月8日	坪根・伊野	連携協力推進会議事業 (中友小学校)
巨大空気砲を作ろう！	58	12月14日	伊野・坂本	連携協力推進会議事業 (中友小学校)
液体窒素で遊んでみよう	58	12月16日	竹内・鮫島・青影・山口	連携協力推進会議事業 (倉永小学校)
ペットボトルでジャイロリングを作って飛ばそう！～えっ、こんなに飛ぶの？～	132	12月22日	坪根	連携協力推進会議事業 (三池小学校)
IchigoJamによるプログラミング	35	1月17日	尋木	連携協力推進会議事業 (明光中学校)

○小中学校教員対象

講座名	参加人数	開催日	担当者	主催等
大牟田市小学校・特別支援学校教員教育講座（理科）	21	7月28日	尋木	連携協力推進会議事業 大牟田市教育講座

○一般市民対象

講座名	参加人数	開催日	担当者	主催等
「物語が書かれた時代の視点で読むということ」	30	11月10日	藤崎	大牟田市生涯学習 まちづくり推進本部

「xRのしくみとVR体験 コロナ禍で加速している xR 技術」	30	12 月 8 日	塚本	大牟田市生涯学習 まちづくり推進本部
---------------------------------	----	----------	----	-----------------------

○その他依頼事業等

講座名	参加者数	開催期日	担当者	主催等
大牟田市石炭産業科学館での三池炭鉱で使用された「電気機関車」の乗れるモデル運転展示	150	8 月 1 日	篠崎	大牟田市石炭産業科学館
オンラインによる反転ヘリ作製ほか	270	9 月 5 日	原慎	サイエンス支援ネット
理科読（光について）	24	10 月 17 日	竹内	大牟田市立図書館
科学広場 in おおむた 2021	120	11 月 14 日	原慎・伊野・西山	大牟田市立図書館
楽しいラジオ作り FM たんとを聴いてみよう	15	12 月 4 日	菅沼・石川・野口・森山	第 16 回エレクトロニクス・ものづくり体験教室
オンラインによる反転ヘリ製作ほか		12 月 19 日	原慎・篠崎	サイエンス支援ネット
オンラインによるジャイロ効果を使った逆立ち君の製作	90	2 月 11 日	原慎・坂本	おもしろメカニカルワールド（日本機械学会）
オンライン＋対面による反転ヘリ製作ほか		3 月 20 日	原慎・篠崎	サイエンス支援ネット
高専ハカセ塾	20	6 月 5 日～ 11 月 20 日 （15 回実施）	竹内・坪根・藤本・鮫島・森山・窪田・森田	有明高専・熊本高専・久留米高専合同企画
リケジョ	138 延人数	12 月 4 日 ～3 月 7 日 （5 回実施）	野口（欣）・岩本	有明高専

4. 第5ブロック研究推進関係

(1) KOSEN EXPOの開催

10月20日（水）、21日（木）の2日間、KOSEN EXPOがオンラインで開催されました。本イベントは、全国の高専と参加企業等をマッチングし、具体的な連携を行う目的のイベントで、有明広域産業技術振興会会員企業の16社が参加いただきました。

(2) 令和3年度第5ブロック研究・産学連携・地域連携合同会議及び第8回日本弁理士会九州会との交流会

2月24日（木）にオンラインにて開催され、第5ブロックの研究の推進及び外部資金獲得方策等について議論を行いました。

（本校出席者）江崎校長、高嶋部長、菅沼地域共同テクノセンター長、大河平研究推進・産学連携本部員、石川研究・産学連携推進部長

5. その他

(1) 菅沼地域共同テクノセンター長が退任

令和4年3月31付けで、菅沼地域共同テクノセンター長がセンター長を退任されました。後任の令和4年度センター長には榎本 尚也 創造工学科（応用化学コース/環境生命コース）教授が就任します。

本誌並びに技術相談及び共同研究等に関するご意見・ご質問がございましたら、テクノセンター事務室までご連絡ください。

テクノセンター事務室

T E L : (0944)53-8627

F A X : (0944)53-1361

E-mail : arcc-office@ml.ariake-nct.ac.jp